

2014年11月18日

大仙市議会
議長 橋村 誠 様全日本年金者組合大曲支部
支部長 石渡 志夫
014-0054
大仙市大曲金谷町19-19
電話0187-62-1102

年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める陳情

日頃、地域住民の生活向上と福祉増進へご尽力されていることに敬意を表します。
日本の年金受給者の多数はこの所の生活必需品の値上がりで生活が苦しくなっています。とくに一人暮らしの高齢者の生活は厳しさを増しています。

物価が上がればそれに応じて年金を引き上げ、その給付水準を維持する「物価スライド」の制度があるのに、それをしないで年金を下げる仕組みが本格的に働き始めようとしています。

政府・厚生労働省は、この仕組みを使ってこの先30年間年金を下げ続けることを予定しているだけでなく、これをもっと厳しいものに改める見直しさえ進めようとしています。年金の引き下げは、政府がすすめている「経済の好循環」政策にも逆行し、地域経済と地方財政にも大きな打撃を与えます。

年金引き下げは、高齢者だけの問題ではありません。賃金の低下と非正規労働者が増えるなか、年収200万円以下の安い賃金で働いている人が1100万人を超えており、わずかな基礎年金に頼る将来の高齢者の年金も心配されます。

年金引き下げのとりやめは高齢者にとって切実な願いです。将来の高齢者、つまり現役の方々にとっても同様です。また、国民の生存権を守る全額国庫負担の「最低保障年金制度」も欠かせません。

貴議会におかれましては以上の趣旨をご理解いただき、下記事項につき国に対し意見書を提出して下さるようお願い申し上げます。

陳情事項

1. 年金削減を取りやめ、この先30年間年金を下げ続ける仕組みを廃止すること。
2. 全額国庫負担の「最低保障年金制度」を創設すること。

以上

